

市長としゃべらんで

「市長としゃべらんで」第22回目の今回は、今年度新たに着任した「地域おこし協力隊員」の6人の内、3人の隊員と原井市長とのトークセッションの様をお伝えします。

※次回の「市長としゃべらんで」では、残りの3人の隊員とのトークセッションをお伝えします。



原井 敬 市長 × 地域おこし協力隊

自己紹介と 志望動機

市長 今日4人でざっくばらんに話しましょう。まずは皆さんの自己紹介と、地域おこし協力隊になったきっかけからお願います。柿本さんからどうぞ。

柿本 徳島県の南部地域の牟岐町出身です。進学を機に徳島を離れ、県外で働いている時期もありました。

Uターン後、吉野川市で地域創生に熱心に取り組まれている方たちとお話する機会があり、協力隊に興味を持ち、応募しました。

今は自転車地域を巡りながらツアーの企画などに取り組んでいます。

市長 海部郡と吉野川市では生活圏がまったく違いますよね。南の人がこちらに来るのは珍しいですね。



「美郷の梅酒」の製造の技術継承と事業の維持・継続に係る業務



みずしま あゆむ さん
水島 歩夢 さん

(株)千里 東野リキュール製造場勤務



原井 敬 市長

観光資源の維持・発掘・創造および国内外へのSNSなどをを使った情報発信業務



さがわ かずひろ さん
佐川 和宏 さん

(株)南風ベジタブル勤務

サイクルツーリズムを中心としたガイド付きアドベンチャーの構築業務



かきもと なりあき さん
柿本 成章 さん
眞鍋商会(株)勤務

柿本 そうですね。これまで西部地域はあまり来る機会がなかったんですが、住んでみると共通点も多くて、徳島の面白さを再発見しています。

市長 そうやって地域の魅力を再発見してくれるのは嬉しいですね。では次に、佐川さんをお願いします。

佐川 板野町出身で、以前は家業の農業をしていました。後継ではなかったので次の仕事を探していたところ、地域おこし協力隊のことを知りました。最初は軽い気持ちでしたが、実際に訪れてみると居心地がよく、自然も豊かで人も温かい。今は地域の方と一緒に子ども食堂を手伝ったり、自然体験の企画をしたりしています。

市長 お菓子づくりが趣味なんですか？

佐川 はい。和菓子やプリンを

作るのが好きで、地域の人に配って一緒にお茶を飲んだりしています。お年寄りと話すのも好きなので、自然と仲良くなっていますね。

市長 こういう日常のつながりが大事ですよ。では水島さん、お願いします。

水島 大阪府出身です。都会を離れて田舎に住みたいと思っていて、地域おこし協力隊の制度を知りました。お酒づくりに興味があり、梅酒特区の美郷で蔵を構えた方のもとで学べると知り、応募しました。今は1対1で技術を教わりながら、美郷の梅酒の製造に携わっています。

市長 新聞でも大きく紹介されていましたね。

水島 はい、あの記事以降、「見たよ」と声をかけてもらうことも増えて、少しずつ地域に溶け込めてきた気がします。



吉野川市に 来てみての印象

市長 では次のテーマ、吉野川市に来てみての印象について、話を進めましょう。水島さんからお願いします。

水島 最初は「田舎だな」と思いました（笑）。でも住んでいくうちに、人との距離が近くて、大阪では薄かった人のつながりが、こちらでは濃く感じます。最近では地域の歴史にも興味が出てきて、地元の方から昔の話を聞いたり、小さな神社を訪ねた



水島隊員が勤務する(株)千里 東野リキュール製造場の梅酒

りしています。吉野川市ではないですが、剣山に関連する伝説や葉たばこ産業の話など、徳島は知らないことが多くて面白いです。

市長 徳島にはそういう、ロマンのある話も多いんですよ。知る人ぞ知るといふものがたくさんあります。では、佐川さんはどうですか？

佐川 私の印象は、とにかく人がフレンドリーだと思えました。年配の方も多いですけど、皆さん声をかけてくれて、シシ鍋をご馳走してくれることもあります。お返しにお菓子を作って持っていくと、また「これ食べて」とお裾分けがあったりして、ほんとに温かい地域だなと感じます。

市長 いい関係が築けていますね。では柿本さん、住んでみての印象をお願いします。



Mt. 高越ヒルクライム 2025 の会場設営を行う柿本隊員

柿本 私が住んでいる山川町はサイクリングには最適な場所です。吉野川沿いや美郷方面をよく走っています。

サイクリング中に地域の方に声をかけていただいております。声をかけていただいております。声をかけていただいております。声をかけていただいております。声をかけていただいております。声をかけていただいております。声をかけていただいております。声かけていただく機会が多くて、そうした人との関係が自然に生まれるのが、この地域の魅力ですね。

現在取り組んでいること

市長 では次に、皆さんが現在取り組んでいることについて聞

かせてください。柿本さんからお願います。

柿本 今はサイクルツーリズムを中心としたガイド付きツアーの企画などに取り組んでいます。地域を自転車ですりながら食事や文化・歴史に触れていただけるような内容にしたいと考えています。

吉野川流域や遍路に沿ったルート作りにも挑戦中です。

市長 地域の自然や文化を体験できるツアーということですね。では、佐川さん、現在の活動について教えてください。

佐川 美郷地区での活動として、地域の方と一緒に子ども食堂の手伝いや、自然体験の企画などを行っています。地域の人と関わりながら、地域の魅力を少しずつ伝えていきます。

市長 地域の人との関わりを大切にした活動なんですね。では



水島さん、梅酒づくりについて教えてください。

水島 梅酒の仕込みや瓶詰めなど、製造の基礎を学びながら、美郷の梅文化を継承するための活動をしています。いつか自分の手で新しい商品を企画したいと思っています。

今後 取り組みたいこと

市長 では最後に、皆さんの今後取り組みたいことについて聞かせてください。柿本さんからお願いします。

柿本 自転車で地域をつなげることです。サイクリングを通じて、吉野川市が県内外の人の交流拠点になればと思います。

市長 地域の回遊性を高めるというのは、大きな挑戦ですね。佐川さん、お願いします。

佐川 美郷の人たちがもっと外



佐川隊員が集荷・配達している美郷の野菜

に出て、いろんな人と関わること、きっかけを作りたいです。たとえば美郷スイーツフェアとか、地域の素材を使ったイベントを開いてみたいです。

市長 地域の人を巻き込みながら広げていくアイデアですね。水島さん、お願いします。

水島 梅酒づくりを軸に、音楽や旅と組み合わせた新しい体験をつくりたいです。将来的には自分で民宿や宿を開き、地域に滞在する楽しさも提供できれば

と思っています。外から来た人が「また美郷に行きたい」と思える場所にしていきたいです。

市長 皆さんの話を聞いて、地域に新しい風が吹いていると感

じました。吉野川市は挑戦する人を応援します。3人がそれぞれ個性を活かして活動することで、きっと地域も元気になっていくと思います。これからも楽しみにしています。

